

# 魚津三太郎塾 ポスター集

第2期

(平成24年10月～25年6月)

平成25年6月3日作成

**企 業 名**

**提案者(塾生)**

(株)アクセスネット情報技研 板倉 健太郎

(株)石崎蒲鉾 石崎 一成

(有)石崎製作所 石崎 津世志

魚津交通(株) 谷川 悠

(株)かづみ野 経崎 勝

(有)仁右衛門家 清河 哲士

西田哲也りんご園 西田 哲也

本田会計事務所 柿沢 泰人

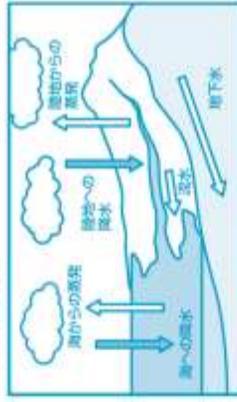
# 水循環 プロジェクト

魚津の

「日常」に  
もっと「環境」を

## 特異な地形が生み出した魚津の水循環

水は、海から蒸発して雲となり、雲から雨や雪が降り、川となって海へ帰るといった循環を繰り返しています。海洋から標高2400m以上に至るまで、距離距離でわずか25kmしかない急峻な地形をもつ魚津市では、この水の循環が一つのまちで循環しています。魚津市は、特異な地形が生み出す水循環と、それに育まれた豊かな自然に恵まれた地域であります。



## 環境問題を意識させるには？

何不自由なく生活できている現状があることで、魚津市民は地域環境に関する知識が乏しく、関心がとても薄いように感じます。近年では温暖化が進み降雪量が減り、川の水や地下水が干上がり、魚獲量が減少し私生活を取り巻く環境が確実に変化しつつあります。

## 事業プロデュースで「環境」を身近なものに

## 環境保全事業に取り組み事業者の マーケティング・広告面の補助！

- HP制作の知識を生かしターゲット・目的を明確にしたマーケティングのご提案。
- あらゆる媒体を駆使した宣伝広告を実施し、ターゲットが日常的に「環境」を意識できる仕組みづくり。

## 目指す 成果と展開

ポータルサイトを設置し北陸新幹線開業に向け観光面においてもアプローチ  
魚津市民をターゲットとした上記の施策により、市民の「水循環」に対する理解度の上昇が見込めます。その後の展開として水循環関連商品販売をメインとしたポータルサイトの設置を考えています。市民以外の観光客などをターゲットとし、広範囲での「水循環」の理解度向上を図ります。

## 第1弾 魚津市への 提案

## 既存のコンテンツを利用し、意識改革を目的としたプロデュース

魚津市では現在、魚津市民をターゲットとし「魚津の水循環」の広報活動として「水循環遺産の選定」、「水の学び舎ツアーの実施」、「魚津の水循環冊子の発行」を施行。しかし、いずれも市民には十分に伝わっているとは言えないのが現状です。そこで、今回は魚津市への提案とし、既存コンテンツを利用した施策を考えました。

## 魚津の水循環冊子の絵本化プロジェクト

現在発行中の「魚津の水循環冊子」を絵本風に改良。ターゲットを小中学生に絞り、要点のみを抜粋。幼い子供にも理解できるようなイラスト重視のものにし、教育機関に配布。難しいことはわかなくてもまずは水循環の意味を理解してもらおう。

## 施策 1 其の



## 「水の滑り台」看板プロジェクト

JR 駅前に「水の滑り台」というコピーを記した視認性の高い看板を多数設置。あえて「水循環」の内容は明記せず、疑問を持たせる。疑問を持った人がWEBで「水の滑り台」というワードを検索すると、説明が記載されたサイトが検索エンジントップに表示される。  
※「水の滑り台」とは急峻な魚津の河川の比喩

## 施策 2 其の



ウェブコンテンツ  
ホームページ制作  
システム構築



アクセスネット情報技研

〒937-0041 富山県魚津市吉島 1005-5  
Tel.0765-32-5777 Fax.0765-32-5778  
www.e-sougyou.com

標高・海底の高低差4,000M。類希な環境に抱かれる「うおづの街」だからできる！

# 地魚200%<sup>利用</sup>で 創造する 蒲鉾

魚津でしかつくりえない

## 蒲鉾略史

### 超高級食品

1115年(900年前)の文献に  
宴会料理としての掲載有。

貴族の食物

### 没個性化

冷凍すり身の開発により  
量産され、庶民的に。

誰もが買える時代

### 二極化商品へ

食の多様化と魚食減少で  
縮小路線をたどっている。

手頃な美味しさ減少

消滅？

## 蒲鉾の強みは？

- ・地域特化したものが可能
- ・低脂肪、高タンパク
- ・骨が無く消化が良い
- ・形状の自由度無限大
- ・食卓ゴミ減



## 現状の問題は？

- ・冷凍すり身の依存度…大
- ・生魚は廃棄率が最大70%
- ・原料となる魚の量が不足
- ・各作業の職人不足



# 「味噌かま」から始める循環型商品の開発

## 蒲鉾を造る

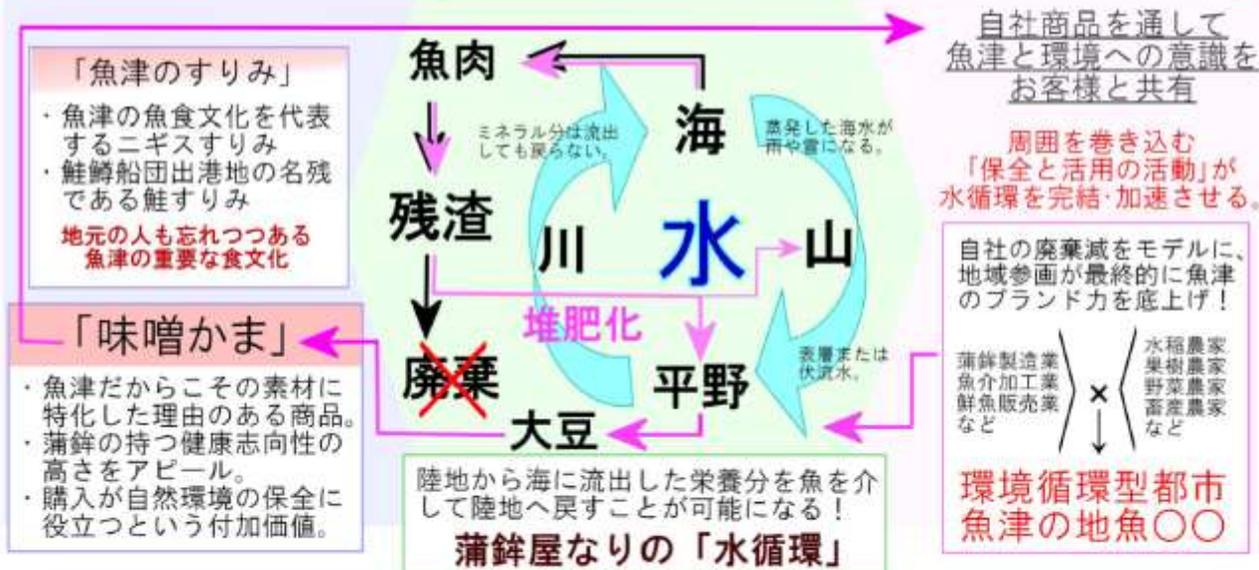
長い歴史の中で育まれた魚津の蒲鉾を素材・品質・技法の各面から見つめ直し、新たな付加価値を与えて造り上げる。

## 循環を作る

今までは単に廃棄物となっていた残渣を資源・材料として捉えて、水循環の一部に取り込んでゆく。

## 「わ」を創る

食や文化、自然環境などへの関心を自社商品を通して共有する事で「輪」と「和」を創り上げる。



うまい蒲鉾が活力ある街と美しい自然環境をつくる  
世界にひとつだけの街 魚津

# 水を守るために森を守る

## 現状

当社は、金型メーカーとして、ITを駆使した3D加工に取り組んでおり、  
当社の強みとして、県内外からたくさんの受注を受けてきました。

## 課題

日本の高度成長とともに製造業は右肩上がり成長してきたが、  
"失われた10年"が20年に届く所までできてしまっている。  
大量生産が国内で行われなくなってきている今、  
当社の本業である金型も縮小の一步をたどり、先の見えない状況がある。

## 取組

メーカーでなくても、ものづくりができるよう、ITを使った新しいものづくりを検討、実践中。

## なぜ金型メーカーが水を守るのか？

魚津という恵まれた環境で、当たり前すぎている環境は、実は戦後の復興期  
会えるかもわからない子孫のために先祖の方々が残してくれた贈り物でした。  
その贈り物を次の世代へ受け継ぐのは、今の私たちの役目なのではという思いからです。

当社だけでは森を守ることができないので

新川森林組合様と連携した取り組みを検討していきたいと思ひます。



魚津市の市街地や海底に湧き出る水は、

何年もの時間をかけて流れてきます。

いま、しておかないといけないことがあります。



# 魚津交通の自給自“走”タクシー

## 世界的にも希有な地形

魚津の地形は標高2400m級の山々から海までの距離がわずか25kmという特異な地形から成り立っています。山岳地帯に降り注いだ雨や雪は、豊かな自然の中で長い時間を掛けて地下水となり、また川から富山湾に注いでいます。この水循環により魚津市の生活用水が安定供給され、産業用水としても利用する事が可能になっております。従いまして、魚津の水循環を維持・保全する事は魚津市の生活を守る事に直結します。



## 当社の水循環への関わり

当社は、魚津にて一般旅客自動車運送事業（タクシー及びバス事業）を60年余り営業しております。市民の恩恵の足代わりとして日々お客様にご利用頂いております。これまで当社の環境対策としては、グリーン経営認証の取得やエコドライブ教育の受講（1回/年）を実施してきました。しかし三太郎塾での学びを通して、日々車輪を稼働させながらも魚津市の環境維持にもっと貢献できないものかと考えました。

また昨今の政情不安や円安を要因とする燃料費の変動は、当社のサービスの安定供給に不安を与えかねません。魚津市の環境維持に協力しつつ、更にはこの課題を解決する方法はないか検討しました。そこで注目したのが太陽光発電と電気自動車の2つでした。

## タクシー業界としての環境活動

### 「グリーン経営認証」取得の促進

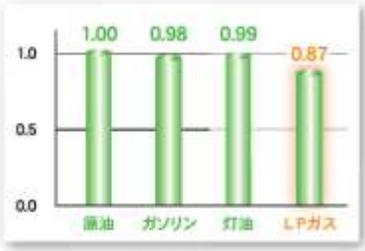
「グリーン経営認証」とは、グリーン経営推進マニュアルに基づく事業者の環境改善の努力を客観的に証明し公表することにより、取組み意欲を向上させ、認証事業者への社会・利用者からの理解と協力を得て、運輸業界における環境負荷の低減を実現させる制度です。本認証の取得を促進する事で、各事業者に対して環境負荷の少ない事業の運営を図っております。

### デジタル式GPS-AVMシステムの導入促進

お客様から近距離にあるタクシーを配車するシステムの導入により効率的に配車をし、空車走行の削減を図っております。

### 環境負荷の少ない燃料を利用

LPガスはガソリンやディーゼルと比較して排気ガス中の大気汚染物質の排出を抑える事ができます。また石油の枯渇問題の観点からもLPガスの利用を促進しております。またハイブリッド化を実現したタクシー用LPガス兼用自動車の開発の働きかけを国土交通省及び自動車各社へ実施。省エネ対策の推進を進めております。



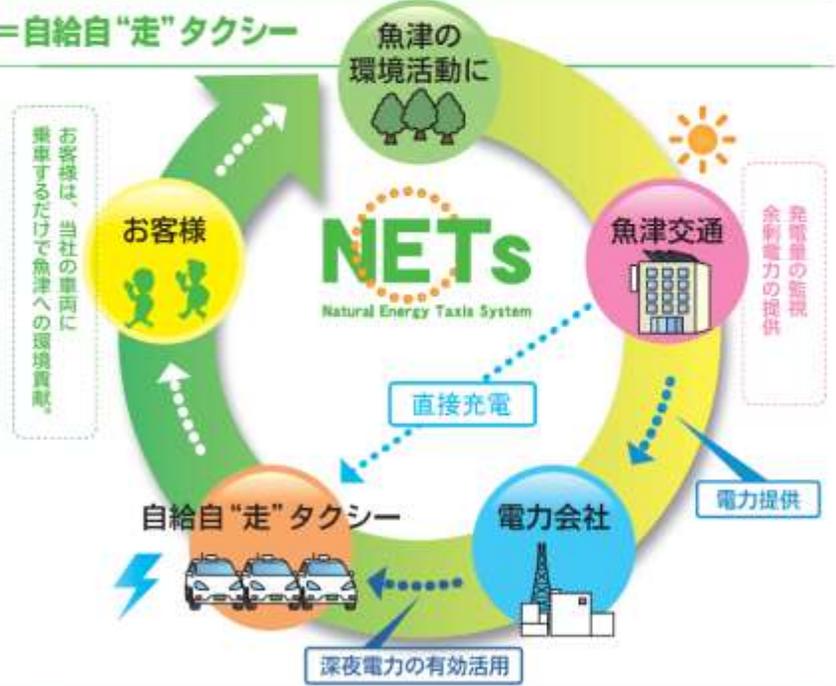
出典：自動車ガス協会 <http://www.jtba.or.jp/01/environment.html>

## 太陽光発電+電気自動車=自給自“走”タクシー

前述した通りタクシー車輪の燃料はLPガスが大半を占めております。LPガスは化石燃料の中でもCO2排出量が少なく、燃焼時の排出ガスも極めて低く環境負荷の低減を実現した燃料です。しかし、タクシー車輪は毎日的100km以上も走行します。これにより少なくとも魚津の環境には影響を与えております。そこで環境に優しい燃料がないものか考えたのが太陽光発電と電気自動車を組み合わせるものでした。

当社に設置した太陽光発電により電力を産み出し、それを直接タクシー車輪の燃料として活用します。太陽光エネルギーを活用する事で車輪からの大気汚染物質の排出を無くし、魚津の環境維持に貢献します。また本タクシーを利用頂く事のお客様も直接魚津の環境維持に協力頂く事ができます。更に本タクシーで節約された燃費の一部を環境活動に寄付し、魚津の水循環の維持・保全に役立てます。

しかし本システムの問題点として電気自動車の走行距離が現行の車輪よりも低く、また充電スタンドの数が少ない点があります。それでも当社としては、魚津の水循環の維持をタクシー業界が率先して取り組む事に意義があると考えております。



この事業のメリット	✓ 魚津の環境維持に貢献	環境教育・維持活動の促進
	✓ 全国のタクシー事業者の先駆け	環境配慮型タクシーの導入促進
	✓ 魚津の観光資源のPRに協力	観光客の増加による魚津の更なる活性化

## 魚津の将来の為に

魚津は世界的に見ても特異な地形です。美味い水が豊富に産み出され、山・川・海など自然を経由して恩恵を私たちは受けています。この自然からの恵みは市外・国外・国外から見ると魅力的なものに間違いありません。人口の減少と高齢化、北陸新幹線の通過など問題はありますが、これからは魚津は発展していきます。なぜなら、自然と一体に育んできた独自の文化があり、更には人々が集まる気があるからです。素晴らしいコンテンツがあれば、発信手段や表現方法を工夫する事で魚津のファンを増やす事は必ず可能です。自然の恩恵を活かし、それを守り発展して行く、魚津はそれができる街です。

# 脅威の竹パワー — 抗酸化水の抽出

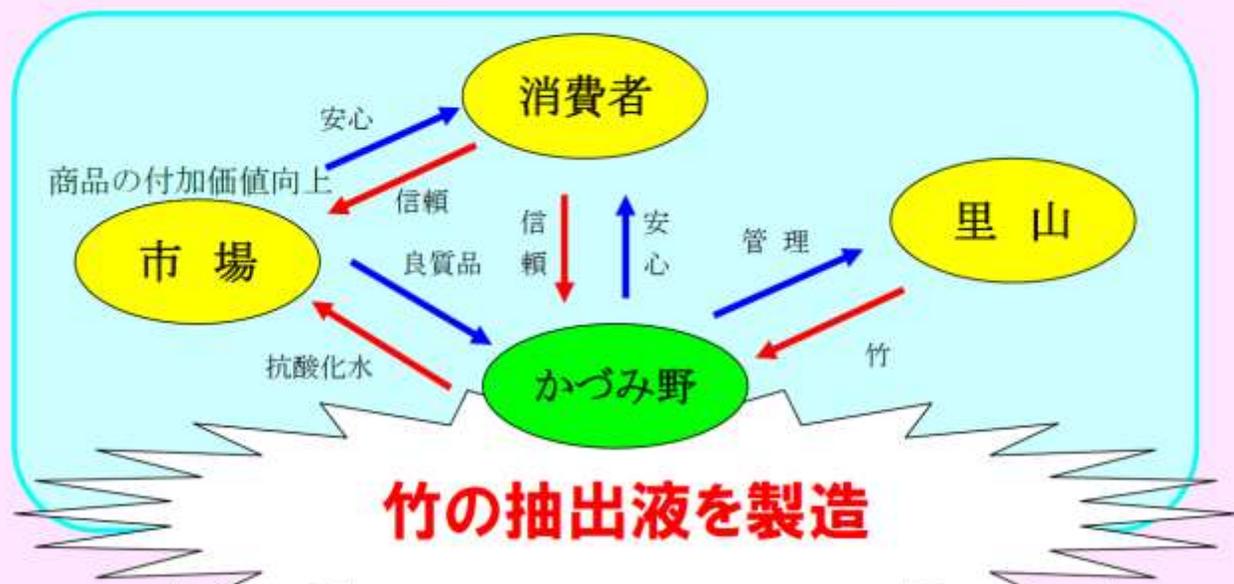
日本料理 かつみ野 経崎 勝

## 竹林・里山の荒廃

- ・竹の密生(曲がり・細身)・境界の破壊
- ・低木・下草の衰退
- ・斜面の崩落
- ・人間を含む共生動物の侵入阻止

## 料理人としての視点

- ・竹や笹は水がない時代、魚の腐敗防止に利用
- ・竹の水筒に水を入れておくと腐らない
- ・押し寿司などの保存食の容器として利用



## こんな使い方もできます

- ・ご飯の劣化防止, カニ・煮干し・干物の酸化防止
- ・魚の賞味期間の延伸
- ・O157・鳥インフルエンザ・耐性菌の消毒
- ・手指の殺菌消毒 (肌荒れなし), 水虫の治療
- ・畑のナメクジ撃退, 配管の消臭剤

# 泊って学ぶ「水の恵」



## 体にやさしいマタニティプラン

### 魚津の水循環とは・・・

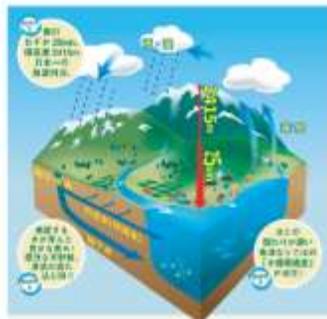
魚津市は海岸から標高約2,400m以上の山岳地帯に至るまで、直線距離でわずか25Kmしかない、大変急峻な地形から成り立っていますが、山岳地帯に降り注いだ雨や雪は川や地下水となって扇状地を流れ、富山湾に注いでいます。そして、10～20年かけて「海底の湧き水」として、海底からじわじわと溢れ出しています。このように魚津の良質な水とは海底地下水が蒸発し雲となり、その雲が雨や雪となって大地に降り注ぎ、また私たちの元に戻ってきます。(参照:魚津市「魚津の水循環」など)

**現状・課題** 古くより「子宝」や「安産」を願い来館されるお客様の存在。北山鉱泉の歴史上の背景を考え、現代人のもつ健康や環境への意識に配慮したサービスを考える。

### 北山鉱泉の起こり

慶応2年、北山村の仁右衛門の妻が産後の肥立ちが悪く病に伏していた所、夢枕に薬師如来が現れ、薬師堂付近の湧水を飲ませ湧かしてお湯につかせなさい、と…。言われた通りにすると、みるみるうちに妻が元気を取り戻した。その噂はすぐに広まった、とさ…。

**コンセプト** 魚津の水循環を伝え、地域の自然環境保全の一助になり、尚且つ当地を訪れるお客様の「願い」のお手伝いをする。



### 現状・課題 + コンセプト

現状・課題とコンセプトを合わせ…

## 魚津の水循環伝える 新たな宿泊プランの提供!

### 宿泊プラン例



### 戦略・ターゲット

妊婦さん+夫

安産を願う出産前の妊婦さんとその夫に焦点を絞る。出産前の記念旅行を楽しむつつ「安産祈願」が環境保全の一助となることをアピール。

### この事業により見込める成果

- 1 魚津の水循環を中心とした、環境及び観光のPRによる地域活性化
- 2 北山鉱泉全体としての認知度向上、ブランド化
- 3 自社収益の確保

# りんごゼロ・エミッション



## 加積りんごとは

加積りんごの歴史は100年を超え、国内でも古い産地です。現在組合は約50軒で構成されています。収量は毎年約800tで全国の0.1%（富山県の約50%）に当たります。そのほとんどは庭先で販売され、ほとんど市場に出回らないことから「**紅のりんご**」と呼ぶ人もいます。加積りんごはリンゴ産地としては全国で2例目の地域団体商標（地域ブランド）に認定されており、広く知られるようになりました。また、組合員全員がエコファーマー認定を受けており、安心・安全なりんごづくりに取り組んでいます。



## おいしさの秘密

### 温暖な気候

富山県はりんごの平地栽培の国内最南端といわれています。その温暖な気候は、他の産地より**約1か月早くりんごが熟す**ことを可能にしています。またそのことは**太陽の恵み**をたくさん受けることを可能にし、より糖度の高いりんごができる一因となっています。

### 魚津の水環境

魚津市は標高2000mを超える山系と深度1000mの富山湾に囲まれた、世界でも稀な環境を有しています。その環境は自治体内で**水循環**を完結させ、豊富な水を提供してくれます。その豊富な清流はりんごを大きく育ててくれます。

### 100年培われた栽培技術

加積りんごは100年を超える歴史を持ちます。私たちの先輩は、その間試行錯誤を重ね、加積の**環境に適した栽培技術**を確立してきました。加積りんごのおいしさは、恵まれた環境と確立した技術の上に成り立っています。



## りんごの力

ヨーロッパでは「**りんごが赤くなる**と**医者がよくなる**」という説があるほど、古くからりんごの機能が知られていました。ここでは現代科学で解明された**りんごのちから**を紹介します。

### リンゴポリフェノール

リンゴポリフェノールは筋力を増し、内臓脂肪を減らす働きがあることが、アサヒビールと日本体育大学大学院の中島寛之教授らの共同研究で明らかになっています。

### アップルペクチン

アップルペクチンは富山大学医学部の研究により、①高い静脈作用、②善玉菌を増やし悪玉菌を排泄する作用、③腸内の活性酸素を消去する作用、④大腸がんの肝転移を防ぐ作用、などが確認されています。

その他ビタミンCの吸収を助ける作用やセシウムの排出効果などが確認されています。



## 弊園のご紹介

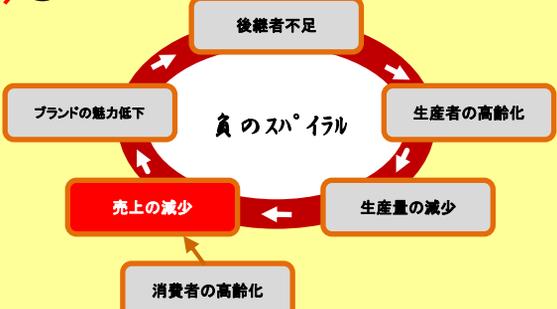
西田りんご園は1933年に、祖父 西田喜一が吉島でりんご栽培を開始し、今年で80周年を迎えました。現在は、父・母・妻と私の4人でリンゴ生産、販売を行っています。生産品種は、ふじ・つがる・さんざ・秋映・紅玉・陽光・シナノスイート・シナノゴールド・ぐんま名月・あいかの香・こうたろうです。りんごを作っていて、お客様に「おいしい」と言ってもらえるのが最大の励みになります。一人でも多いお客様に「おいしい」と笑顔になっていただけるよう頑張ります。



# 加積りんごをもっと沢山のの人に楽しんでもらいたい。

## ブランドを守り、拡大する。

しかし、問題が...



負のスパイラルを解消するためには  
加積りんごをもっと**魅力ある産業**にしなければいけない

$$\text{売上} = \text{客数} \times \text{買上点数} \times \text{一品単価}$$

UPのために

自信を持って売れるりんごを増やす  
技術の向上  
環境保全  
栽培面積の拡大

### 長期目標

今まで廃棄していた  
(もったいない)ものに  
**価値**を与える

## おいしいりんごをつくる

### 栽培技術の習得と向上

### 環境保全



## 効果

- 売上貢献
- 客数UP
- 水循環保全
- ブランド力UP
- 経営安定化
- CO<sub>2</sub>削減



おかげさまで操業80年  
西田りんご園  
西田哲也

# 「水循環コンサル」～地域を元気に～

## 魅力ある魚津の水循環

魚津市は、海岸から標高約2,400m以上の山岳地帯に至るまで、わずか25kmしかない大変急峻な地形から成り立っています。そこから生み出される水は、飲用にも産業にも利用でき、市内全域の需要をカバーできる豊富な水量があります。魚津市は、山、川、里、海とめぐる水循環が完結している世界まれにみる豊かな自然に恵まれた地域です。

## 魚津にある会計事務所として

魚津三太郎塾を通して、魚津の豊かな自然の恩恵を多く学びました。当事務所が水循環をテーマとして出来ることは、地域経済を支えている地元企業様に、業務を通じて魚津の水循環の魅力を知っていただき、事業基盤強化のための新しいビジネスモデルやネットワークなどを構築するためのサポートを行うことです。

## 魚津の水循環が地域を元気にする！！

### 水循環コンサルとは

“魅力ある魚津の水循環” ⇒ “企業さまへコンサル” ⇒ “地域が元気に” ⇒ “水循環を未来へ繋げる” ための **コンサルタント** です。

水循環コンサルの仕組み



### ①セミナー、異業種交流会の開催

水循環に関するセミナー開催・懇親会。懇親会会場にてアースを設け、水循環商品のチラシ配布や販売促進会などを実施します。水循環の認知度を向上させ、同じ目的を持つ人同士のネットワーク化による新たな事業展開の可能性を図ります。

### ②ブログサイトによるお客様の店舗、商品などの情報発信サポート

水循環商品、季節限定商品など水循環への取り組み情報を掲載し、情報の共有・一元化を目指します。また、日本各地の理想循環への取り組みやコミュニティビジネス情報も発信します。

### ③きめ細やかな徹底した経営支援(事業計画書作成、税務相談、助成金相談)

「中小企業経営力強化支援法」による認定支援機関としての経営支援を行います。また、各種助成金や支援制度に関する情報を発信します。

### ④専門家相談ネットワークの構築

地元企業の水循環やエコに対する取組に対して、専門家による認定・アドバイスをうけるためのアソシエーター役を行い、企業様のイメージアップ支援を行います。「魚津の美味しい水を握る会社」「自然に近いインフラ整備をする土木会社」「水循環商品」 など

### ⑤理想循環への取り組み支援(企業の問題点を他の企業が活用する)

企業の経営活動からでるロス材料や産業廃棄物を別企業へ活用できないかを検討し、企業が抱えている問題(コスト)を解消することによる支援です。工事からでる不要物は、ある企業の必要なものかもしれません。また、企業も循環しないものなのか?あの店なくなるけど後継者は?事業承継などに関する税に対するコンサルタントを行い、総合的な相談窓口を設置する支援です。